

1 下の(1)～(6)で、プレゼンテーションにあてはまるものにはAを、ディスカッションにあてはまるものにはBをつけなさい。

- (1) 一方的な情報伝達になりやすい。
- (2) 双方行の情報伝達手段である。
- (3) 自分の知識や意見を正確にわかりやすく、印象的に伝えることであり、聞き手の立場に立って組み立てることが大切である。
- (4) OHPやソフトウェアを活用して、伝える内容を見やすく提示し、そのための準備やリハーサルが必要である。
- (5) 複数の人間がそれぞれ意見を述べ合う作業で、同じ人間が話し手でもあると同時に聞き手にもなる。
- (6) 直接集まらなくても、メーリングリストや電子掲示板、チャット、テレビ会議といった情報ネットワークを利用することも可能である。

2 次の空欄に適切な語句を入れよ。

- 1、プレゼンテーションとは話し手の考えを伝え、(①)の心を動かし、目的の(②)を起こさせるために行う情報伝達。企画や準備を効率的に進めるには、(③)を使用し、その内容としては、(④)、(⑤)、(⑥)、(⑦)を検討する必要がある。
- 2、プレゼンテーションを行う要素として(⑧)、(⑨)、(⑩)などがある。
本番に向けての確認として(⑪)の確認、(⑫)の確認、進行係などとの(⑬)確認などを行い、本番ではつねに(⑭)の立場にたって行う必要がある。
- 3、プレゼンテーションの評価は、聴き手にあらかじめ(⑮)を配布しておいて改善点などを記入してもらう。改善のためのチェック内容として、プレゼンテーションの(⑯)、(⑰)、(⑱)、(⑲)などを検討する必要がある。
- 4、スライドの作成には(⑳)ソフトウェアを使用する。スライドのイメージを統一するには(㉑)を利用すると便利である。
- 5、スライドの文章は(㉒)簡潔にまとめ、(㉓)にすると見やすい。重要な内容は文字のフォントや(㉔)、(㉕)を工夫するとよい。データの数値を表示したい場合は(㉖)にまとめる。データの傾向を伝えたい場合は(㉗)で表示するとわかりやすい。(㉘)は具体的なイメージ伝達に効果があり、(㉙)は雰囲気や抽象的なイメージを伝えるのに効果がある。動画や音声は多用すると聴き手の(㉚)を欠いてしまい、ファイルサイズも(㉛)になるので注意する必要がある。アニメーションは見せたい部分に注目させる(㉜)に効果がある。効果音もその内容を印象づけるが、多用すると作品にまとまりがなくなる。

<2の参考語群>

スライド 態度 話し方 内容 評価記入表 聴き手 最終 配布資料 機器の動作 道具 態度 言葉
内容の構成 目標の設定 聴き手の把握 テーマの確認 プランニングシート 行動 聴き手 視線の誘導
大きく 小さく 集中力 図・イラスト 写真・画像 グラフ 表 色 大きさ 箇条書き 短く
デザインテンプレート プレゼンテーション プレスホルダー

3 次の文は悪いプレゼンテーションの例である。説明文の下線（１）～（５）の部分はどのような項目が悪いのか下の語群から選りなさい。

本番の前半で、(1)あがってしまい説明がとぎれとぎれとなり、後ろの席には、(2)聞こえにくかった。
(3)原稿ばかり見て、聴き手の様子を見る余裕もなかった。後半、話し手を交代し説明。(4)途中プロジェクトの接続不良でスライドがうまく映せなかった。(5)時間がなくなり、説明が尻切れとなってしまった。

●語群

ア.道具の確認 イ.言葉 ウ.態度 エ.練習 オ.内容の構成

4 次の①～④は「富士山の植物」の作品を作る場合のストーリーである。ストーリーの順に番号で並べなさい。

- ① 富士山の成り立ちと環境の導入
- ② 内容のまとめ
- ③ 富士山のタイトル
- ④ 富士山の植物の写真と解説

5 文の（ ）に適切な語句を記入しなさい。（漢字で記入できるものは漢字で記入すること）

- (1)「知的な創造活動」した人が持つ権利全体として（ ① ）という。（ ② ）は、この（ ① ）に含まれるもので、著作物を創りだした人つまり（ ③ ）が持つ権利である。
- (2)（ ① ）の中でも（ ④ ）は登録しなければ権利が発生しないが、（ ② ）は権利を得るために手続きが不要である。著作物を創作した時点で自動的に権利が発生し、著作者の死後（ ⑤ ）年まで保護される。
- (3)著作者の権利を保護するものとして人格権が挙げられる。いわゆる著作者の心の保護する目的の権利である。この権利は著作者だけがもっている権利で（ ⑥ ）したり、（ ⑦ ）したりできない。人格権には3つの権利がある。無断で公表されない権利としての（ ⑧ ）権、無断で名前の表示の方法を変えられない権利としての（ ⑨ ）権、著作物の内容、タイトルなどを改変されない権利としての（ ⑩ ）権がある。
- (4)著作権では、一定の条件を満たす場合は、著作者の許諾を得なくとも著作物を自由に利用することが認められている。例えば家庭内などで限られた範囲内で、仕事以外の目的に使用する場合、使用する本人は著作物をコピーできる（ ⑪ ）のための複製などがある。

<5の参考語群>

じょうと そうぞく 70 50 30 私的使用 同一性保持権 氏名表示 こうひょう
産業財産権（または工業所有権） 著作者 著作権 知的財産権

6 下表は著作権（財産権）（著作物の利用を許諾したり禁止する権利）についてまとめたものである。空欄にあてはまる言葉をいれなさい。（漢字で記入できるものは漢字で記入すること）

著作権の種類	権利の概要
（ ① ） 権(21 条)	著作物を印刷、写真、複写、録音、録画その他の方法により有形的に複製する権利
（ ② ） 権・演奏権 （22 条）	著作物を公に上演し、演奏する権利
（ ③ ） 権 （22 条の 2）	著作物を公に上映する権利
（ ④ ） 権等 （23 条）	著作物を公衆送信し、あるいは、公衆送信された著作物を公に伝達する権利
（ ⑤ ） (24 条)	著作物を口頭で公に伝える権利
（ ⑥ ） 権 （25 条）	美術の著作物又は未発行の写真の著作物を原作品により公に展示する権利
（ ⑦ ） 権 （26 条）	映画の著作物をその複製物の譲渡又は貸与により公衆に提供する権利
（ ⑧ ） 権 （26 条の 2）	映画の著作物を除く著作物をその原作品又は複製物の譲渡により公衆に提供する権利（一旦適法に譲渡された著作物のその後の譲渡には、譲渡権は及ばない）
（ ⑨ ） 権・（ ⑩ ） 権等 （27 条）	著作物を翻訳し、編曲し、脚色し、映画化し、その他翻案する権利

7 次の著作権の侵害例について、次の空欄に適切な語句を埋めよ。

ケース 1

テレビで放送された映画をビデオ録画して配布 → （ ① ） 権の侵害、（ ⑧ ） 権の侵害！

ケース 2

公表されている他人の著作物を Web ページに無断で掲載 → （ ① ） 権の侵害、（ ④ ） 権の侵害！

ケース 3

友人が写っている写真を無断で Web ページに掲載 → （ ⑪ ） 権の侵害！

ケース 4

本人を特定できるような個人情報を本人に無断で Web ページに掲載 → （ ⑫ ） の侵害！

ケース 5

掲載の許可は得た写真であるが無断で加工し掲載

→ もとの写真とは違うので （ ⑬ ） 権の侵害、（ ⑭ ） の侵害！

< 6 と 7 の参考語群 >

じょうと はんぷ 翻訳 ほんあん 複製 展示 公衆送信 上映 上演 しょうぞう
プライバシー

8 次の文の（ ）に適切な語句を記入しなさい。カタカナでの言葉はすべて英語のスペルで書くこと、漢字の部分はすべて漢字で記入すること

- (1) 集めた情報を複数の人が利用するときには、情報を（ ① ）するために約束ごとや工夫が必要である。
- (2) 文書作成ソフトウェアで作成された文書も、デジタルカメラで撮影された写真も、コンピュータの記憶装置に保存されるときには、（ ② ）と呼ばれるまとまりで扱われる。
- (3) （ ② ）は（ ③ ）と呼ばれる名前をつけて、他と区別する。
- (4) （ ③ ）の後半には、ピリオドで区切られた（ ④ ）がつくことがある。
- (5) （ ② ）をまとめて保存するための手段として（ ⑤ ）の利用がある。
- (6) ネットワーク上などで複数の人が利用できる（ ⑤ ）（ ⑥ ）という。
- (7) 校内や社内のネットワークを利用してファイルを共有するときには、（ ⑦ ）が利用される。
- (8) 不正な利用を防止できる仕組みとして（ ⑧ ）を設定することができる。
- (9) （ ⑨ ）は記憶装置を識別するために使われる。

<8の参考語群>

ドライブ名 アクセス権 ファイル ファイル名 フォルダ 共有フォルダ
共有 かくちょうし ファイルサーバ

9 プロジェクトの進め方について、関係の深い内容を④ ～⑩のなかから選びなさい。

④ 目標の設定 ⑤ 計画 ⑥ 実施と調整 ⑦ 評価・完了

- (1) 図書館、インターネットを活用して、情報を収集する。
- (2) 発表資料をつくる。
- (3) 設計・デザインなどのドキュメントを作成する。
- (4) スケジュールや計画表を作成する。
- (5) 目標達成に必要な作業を明らかにする。
- (6) 研究テーマを明確にする
- (7) どのようにまとめるか、成果物を明らかにする。
- (8) 制作・開発計画に従って作業を進め、完成する。
- (9) 収集した資料を整理する。
- (10) 責任者や役割分担を考える
- (11) 仕様書などのドキュメントを作成する。
- (12) 自己評価・相互評価・評価者による評価を受ける。
- (13) 発表のリハーサルを行う
- (14) デジタルデータとして資料を保管・共有・活用する。
- (15) 活動期間と授業時数などを確認する。
- (16) 制作・開発に必要な情報を収集する。
- (17) 現地調査、アンケート調査を行う。
- (18) 発表を行う。評価者・聴衆から評価を得る。
- (19) 制作・開発の成果物のイメージを具体的する。
- (20) 研究レポート・論文を研究論文収録などにまとめて、成果を公開する。

10 次の文で、（ ）に適切な語句を記入しなさい。

情報を検索するときに威力を発揮するのが（ ① ）である。たくさんの情報を保存しておき、その中から関連する情報を選び出すために、（ ② ）では一つ一つ情報にキーワードをつけて検索できるようにしている。検索サービスを使って目的の情報をえるためには、（ ③ ）のキーワードを使って、検索されるWebページの数（ ④ ）ことができる。地域の活性化について調べたいなら、「地域」と「活性化」の両方のキーワードに関連するページを探せば、より自分の関心に近い情報を検索することができる。このような検索を（ ⑤ ）という。そのほかに（ ⑥ ）や（ ⑦ ）があり、それらを組み合わせることによって条件を詳細に設定し、目的に合ったWebページを選び出すことができる。

<参考語群>

リンク ネットワーク NOT 検索 OR 検索 AND 検索 絞り込む 複数 データベース キーワード
簡易検索 ロボット検索 ディレクトリ検索 検索エンジン

11 次のプレゼンテーションのスライドを適切に直し、その図をスケッチせよ。

（書体、色については色の指定を言葉で書き、アニメーションについては順番等を番号等で示し、その他についてもすべて言葉で説明すること）

図解化とは

図解とは、雑多な情報を整理して図にすることにより、聴き手により効率的に理解してもらうためのプレゼンテーション手法である。

図解化するには、まず情報の中からキーワードを見つけ、それらのキーワードの関係を整理する。そして、基本的な図形に当てはめてレイアウトや配置、配色などのデザインの調整を行う。